

自己評価公表シート

令和5年度 社会福祉法人徳風会 めぐみ保育園

(実施期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

1、本園の保育目標

健康で安全な暮らしのできる子 自分のことは自分でできる子
友達と仲良く遊べる子 自分から進んで取り組み工夫する子 心情豊かな子

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

すべての課題の基となる人材の確保
保育の質の確保のための人材の育成
勤務環境改善に向けての業務の削減

3、評価項目と取り組みの状況

評価項目	取り組み状況
保育計画の計画・実施に関して、保育士間の共通理解を持つ	保育目標のもと、保育の計画に当たっている。学年別会議等で共通理解を持つよう努めている
子どもの姿を的確につかみ、保育に活かす	子どもの生活の実態に合わせ保育を行っている。リハセンター等の助言を受けている。
教育の質の向上のために、様々な研修に参加する。また、園内研修を実施する	県・市等が行う研修に可能な限り参加しているが、十分ではない。
保護者の思いの把握に努め、適切に対応する。	保護者からの様々な意見を真摯に受け止め、改善すべきことについては対応をしている。保護者参加の行事等で、園の考えを伝えるよう努めている。

4、項目別の評価の集計

* 評価を行い、上記のような結果が出た。具体的には、下記のような意見が出された。

項目	よくできている	まあまあできている	あまりできていない	できていない
保育の計画性・共通理解	3/6	3/6		
計画に基づく保育の実施	1/6	5/6		
計画・実施の反省・評価	2/6	4/6		
子どもの姿の把握	3/6	3/6		
保護者とのかかわり	2/6	4/6		
関係機関とのかかわり	1/6	2/6		3/6
研修への参加・実施		3/6	1/6	2/6

5、今後取り組むべき課題と、取り組みの成果

項 目	具体的な課題の内容
保育計画の計画・実施 に関して、保育士間の 共通理解を持つ/ 子どもの姿を的確に つかみ、保育に活かす	<p>★こどもの成長に合わせた活動を考え、行うよう配慮をしていたが、コロナ禍で難しいという事もあり、こども達に経験させてあげられなかったこともあった。制限のある生活の中で様々な工夫をして取り組むことの大切さを痛感した。工夫の余地もあると思うので、反省を次に生かしていきたいと思う。</p> <p>★こどもの育ちに合わせた活動を考え、保育に取り入れるようにしたが、日程の調整が不十分でこどもたちのペースで取り組めず、急かすことになったり、満足する前に切り上げてしまったりすることもあった。考えつくまま取り入れるのではなく、日々の行事や職員の業務との兼ね合いも十分に考えてから取り入れるようにしていく。</p> <p>★こども達の成長に合わせた制作や、新旧に向けての様々な取組等、計画性を持って行うようにしていたが、その時の状況によって変更することも多く、余裕をもって行うことが出来ず、慌ただしくなることもあった。今後は、余裕を持たせた計画プラス、臨機応変な対応をし、こども達と向き合いながら保育を行っていきたい。</p> <p>★小学校へ行くことを意識し、修学に向けての期待を持ちつつ、自分のことを自分で行えるような前向きな取り組みが出来ていた。</p>
教育の質の向上のため、 様々な研修に参加する。 また、園内研修を実施する	<p>★保育技術を向上させる為の研修に参加できなかったのが、どのような研修があるのか、情報収集を積極的に行うようにしたい。</p>

6、次年度に向けて

不適切保育の問題が大きく取り上げられる中、社会が保育所を見る目は大変厳しくなっている。そのため、保育を取り巻く環境は年々厳しさを増しているように思える。また、保育に関わる書類作成等の事務量は年々増加傾向にある。

余裕を持って保育に臨み、課題に取り組む時間をもっと取れるような環境整備が必要だと、改めて思う。また長い間の課題であるが、多くの職員が必要な研修を受ける機会をもっと持てるよう、リモートでの研修を活用するなどしていきたい。

なお、出生数の減少によって就学前児童数は長く、大きく減っている。そのため、不適切保育についての報道も相まって、保育士養成校で学ぶ学生の減少も顕著である。最近では、養成校そのものの閉校も見られるようになってきた。そのため、職員の採用は年々厳しくなっている。長く働くことが出来る職場環境の整備が絶対に必要なことであると改めて思う。継続的に取り組みたい。